



日本プライマリ・ケア連合学会
近畿ブロック支部



発行人：雨森 正記
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A
あゆみコーポレーション内
Tel.06-6441-4918 Fax.06-6441-2055
E-mail jpca@a-youme.jp
HP primary-care.or.jp/primarycare-kinki/

ニュースレター No.28 (2019.12)

第33回近畿地方会・姫路(2019.12.01)

900余名、多職種の「地域力」発揮！



同地方会実行委員長 足立 光平 (兵庫県支部長)

旧プライマリ・ケア学会の第2回地方会から30年ぶり、姫路における第33回地方会開催に、近畿各府県よりご参加ご協力いただき有り難うございます。12月1日当日は、お陰様で天候にも恵まれ、**900名を越える参加者**で、大きなトラブルも無く終えることが出来ました。

冒頭開会式では、姫路出身で兵庫県医師会会長・県プライマリ・ケア協議会代表幹事でもある空地大会長、全国学会草場理事長、行政のご挨拶をいただきスタート。

メインテーマ「**解き放て!地域力!**」に即した特別鼎

談では、地元ゆかりの清元姫路市長や園教寺大樹執事長、画家永田萌さん、まちづくりの福岡さんを迎えた含蓄有る対談が行われました。地方会企画のランチタイムセッションの間には、目前の姫路城散策者もおられました。

昼からの冒頭は多職種劇団の公演で、「人生50年」時代の戦国武将と現代をクロスさせる1年以上練り込まれたシナリオで、ACPのあり方を考えさせる感動的なものとなりました。それを受けた「築け、医療介護連携の城を!」を掲げたメインシンポジウムは県協議会の定例研究集會も兼ねて開催され、「ACP祭り」ではない現場に即した実践交流の場となりました。

その他多彩な課題に応える各セッション、地域での実践を踏まえた個別の口演とポスターセッション、若手のプライマリ・ケアカンファレンス、草場理事長も加わったポートフォリオセッションなども並行して、ほぼ時間通りに終了。「優秀演題」の表彰と次期開催予定の大阪医大の鈴木代表の挨拶で締めくくられました。

なお、昼食時には、近畿ブロックの代議員会に続いて、兵庫県支部総会も開催されました。 → [報告] 参照



特集1：第33回近畿地方会での多職種劇団公演を担って・・・「エナガの会」

中村治正（エナガの会代表）



この演劇は、神戸市垂水区を中心に活動する NPO 法人エナガの会と兵庫県下の多職種（10 職種 33 名）で作りました。内容はタイトル通り戦国武将の目線を通して人生 100 年時代の ACP を考えるというものです。信長・秀吉・家康と黒田官兵衛には、地区医師会長クラスの先生方に熟演いただきました。

人生会議のあり方が議論される中、シナリオには神経を遣い、何回も手直し、いかにして重いテーマを劇の中に盛り込むか悩みました。でも、たくさんの方がこの劇を観に来られ、また出演者も役になり切り（皆、本番に強い！）、劇を通して何かしらのメッセージを伝えることが出来たのではないかと感じています。

劇制作で意識したことは3つです。一つ目は、「これが答えだ！というものを出さない」です。患者さんやご家族の「揺れる想い」、「決められない想い」、「決めても変わるかも知れない想い」、そんな「変り続けるであろう想い」に対して「専門職には何ができるのかを考える」までとしました。

二つ目は、劇制作を通して、多職種で議論しながら交流を深めることです。劇の完成度の追求よりも、多職種の協働を重視しました。三つ目は、多くの方を巻き込むことです。50 分の上演時間では限界もありますが 25 名が出演。大会長・空地顕一先生にも「空と大地の神」役で出演いただきました。感謝致します。

演劇は物事を分かりやすく、想いも伝えます。また、共に制作する多職種の関係も深めます。エナガの会は 2013 年より劇活動を実施しています。「劇をするなんて大変では？」と思われるかも知れませんが、お手伝いすることも可能です。引き続き、多職種連携促進に貢献したいと思います。



(公式ホームページ <http://pc33kinki.umin.jp/>)

特集 2 : ポートフォリオ関連 3 企画のご報告

プライマリケア・カンファレンス

講師 一瀬 直日 (赤穂市民病院)、稲岡 雄太 (西村医院)

前半は金子昌裕先生(明石医療センター)、瀬尾早百合管理栄養士(赤穂市民病院)、吉田道生薬剤師(兵庫県薬剤師会)より「多職種連携」を主テーマにそれぞれ、飲みたくなかった抗結核薬を飲んでくれるようになった秘訣、僻地での訪問栄養指導体制の構築、便秘による低栄養進行を薬剤師が中心となって救った事例、を深く考察しました。

後半のワールドカフェでは「地域の壁を突破する」をテーマに多職種で熱く語りあい、成果を図式化したポスターをグループごとに発表しました。



同地方会実行委員 一瀬 直日 (赤穂市民病院)

ポートフォリオ ポスター発表

長谷川貴也先生(村岡病院)、山本敬佑先生(赤穂市民病院)の2名によるポスター形式ポートフォリオを、指導医等が直接アドバイスする新企画でした。ポートフォリオとしてブラッシュアップする方法や、実際行っている臨床研究の改善点をディスカッションし、見学者の専攻医や指導医にも為になる時間帯でした。



スーパードクターから学ぶ! 合格するポートフォリオの作り方 2019

講師 一瀬 直日 (赤穂市民病院) 稲岡 雄太 (西村医院) 朝倉 健太郎 (大福診療所)

中山 明子 (大阪ファミリークリニック) 石丸 直人 (明石医療センター)

三澤 美和 (大阪医科大学附属病院 総合診療科) 玉木 千里 (京都協立病院)

見坂 恒明 (神戸大学大学院 医学研究科 地域医療支援学部門 / 兵庫県立丹波医療センター、地域医療教育センター)

草場鉄周理事長から、専攻医が研修期間中にポートフォリオをどのように作っていき将来に活用したらよいのか、について熱いメッセージをまずいただきました。その後、提出型のポートフォリオを指導医がグーグルドキュメント上で添削し更に良いものにする支援を行いました。普段は学べない指導医から具体的アドバイスをもらい、参加した専攻医たちの嬉しそうな表情が印象的でした。



【報告】近畿ブロック代議員会に参加して (2019.12.1)

小坂 文昭 (こさか家庭医療クリニック)



姫路城のすぐそばの姫路市民会館で行われた近畿地方会での近畿ブロック代議員会は満席状態で熱気を感じながら開始されました。

草場理事長が北海道からお越しいただき、挨拶をされたのち、今大会の大会長で兵庫県医師会会長の空地先生の挨拶と続けました。

今回の地方会は盛況に行われたことに議長である雨森支部長から感謝の意が返す返す伝えられました。しかし、

報告は良いことばかりではなく、**次年度以降の近畿支部代議員数が減少!**ということがメインピックとなり、活発な意見交換がなされました。また、若手の立候補も少なく、もっと若い人たちに参加してもらいたいという思いがあり、それが叶わなかったのが残念という空気でした。

さて、来年の地方会は大阪医科大学での開催とのことで、鈴木富雄先生から寄付はとても重要な資源ですので今回は上限額を廃止、ぜひ、ご寄付をお願いします! (笑) とのことでした。

会議では話しやすい雰囲気作りを心がけているようで、若手の先生からも質問や提案もあり、それらの意見や質問に対し、丁寧に否定せず対応する姿勢は素晴らしいものでした。そしてほぼ定期的に笑いが生じていたのは結構すごいと思います。

幹部の先生方はとても“偉い”先生たちですが、偉さを全く見せず、親近感さえわく方々がされているのを知ることができ、それだけでも価値があると思います。何より、代議員としてブロック会議に参加して、今後の学会運営を通して社会にどのように貢献していこうかと仲間と共に考えることはとても有意義なことだと思います。

【報告】2019年度 奈良県支部総会/第4回奈良地方会 (2019.10.27) 市立奈良病院

吉本清巳 (奈良県支部事務局)

2019年度奈良県支部総会、第4回奈良地方会を、若草山が一望できる、市立奈良病院2階 会議室にて、2019年10月27日に開催しました。総会は、出席22名、委任状48通あり、2018年度の事業報告・決算、2019年度の事業計画・予算の報告がありました。奈良地方会は36名の出席があり、今年の奈良地方会は在宅医療を主題とし、一般演題では、在宅や電子カルテに関連する症例4題の発表があり、白熱した議論が展開されました。

その後、岐阜県シティータワー診療所島崎亮司先生に「新時代に突入した在宅医療の地域連携～キーワードはナラのシカ～」という題名で特別講演をして頂きました。数多く在宅診療をしておられる実際の先生の診療内容や、訪問看護ステーションとの連携について教えて頂きました。また、病院機能を守り、在宅でできる入院予防についてお話いただきました。ケアのシンプル化として、ゴール設定、必要性の検討、医療指標の提示が大切であること。生活の6快として、食事、排泄、移動、保清、睡眠、楽しみを意識した在宅医療についてご教示頂きました。生活の6快については、多職種に振る、不完全でも結構、医師としてできる工夫、のポイントを教えて頂きました。ケースを用いたワークもしていただき、最後に“思いをつなげる”ポイントして、

ACP や退院カンファレンスの出席、そして背中をそっと押す、といことをご教示頂きました。特別講演をして頂きました島崎先生、当番病院を担当頂いた市立奈良病院の先生方、御出席頂いた皆様、ありがとうございます。



【報告】多職種キャリアアップ研究会 (2019.9.8) 近江八幡・G ネットしが



佐々木隆史 (医療生協こうせい駅前診療所)

今年で5回目になりましたキャリアアップ研究会。滋賀県の支援を得て、8職種12名からなる委員とともに作り上げました。今回は、退院支援 Transitional Care をテーマに、健康の社会的阻害要因 SDH を絡めて行いました。参加者は毎年増え続け今年には110名。

記念講演には、当学会 SDH 委員を務める石巻市立雄勝診療所の長純一先生にお越しいただきました。行政職の医師として、復興続く

被災地の人々の健康をどう支えていくかを熱く語っていただきました。また、グループディスカッションでは、独居の食事を地域の輪で支えることで退院できた症例と、ネグレクトを受けている患者の医療窓口を総合診療医一本にまとめることで再入院を防いだ症例を取り上げました。大人気の体験コーナーは、介護 Up to Date と表し、AIの介護保険プラン、認知症 VR 体験、腰痛予防ロボット、服薬管理ロボットなど最先端のものを取り揃えて体験してもらいました。

多くの職種が集まり、学び・体験して・話し合う過程で、住民をより良い生活へとけん引できる多職種を育てていきます。



写真「HAL (腰のサポートマシン)」を使用しているのは滋賀県健康福祉部部長です！

[支部からのご連絡] **ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております！**

近畿ブロック支部・各府県支部・公認グループ活動のホームページが更新されました！

<http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/> 是非、アクセスしてみてください。

(学会トップページ <http://www.primary-care.or.jp> 上部メニュー「講演会・支部活動」から)

→ 詳細は、上記ホームページをご参照願います。

ホームページ担当：梶原信之